

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和3年1月25日

協議会名: 呉市移動円滑化基本構想検討協議会

評価対象事業名: 地域公共交通バリアフリー化調査事業(移動等円滑化基本構想策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容】 呉市移動円滑化基本構想作成業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況と課題の整理 ・新規重点整備地区の設定 ・住民参加と意見の反映 ・協議会運営 ・基本構想(案)作成 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の基本構想における2箇所の重点整備地区について現状を整理し、未整備の特定事業があることやまちの変化に即したバリアフリー化を図る必要性があることなどから、継続して重点整備地区として設定する。 ・市内におけるJR各駅の利用状況や住民等からの要望を踏まえ、JR吉浦駅周辺地区を新規の重点地区として設定する。 ・JR吉浦駅周辺地区をモデル地区としたまち歩き及び各団体ヒアリング調査の実施により、高齢者、障害者等の意見を聴取し、施設や経路のバリアフリー化の方針や特定事業の設定に反映する。 ・上記について、今後協議会での意見交換を行い、呉市移動円滑化基本構想の改定案の作成を行う予定である。 	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>【補助対象事業名】 呉市移動円滑化基本構想作成業務</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況と課題の整理 ・新規重点整備地区の設定 ・住民参加と意見の反映 ・協議会運営 ・基本構想(案)作成 <p>【実施期間】 令和4年3月30日まで(補助対象事業) 令和5年1月完成予定</p> <p>【計画策定に向けた方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の基本構想において重点整備地区に位置付けているJR呉駅・呉港周辺地区及びJR広駅・安芸阿賀駅周辺地区について、現況に応じ、区域、生活関連施設及び生活関連経路の見直しを行い、特定事業の設定を行う。 ・新規重点整備地区の候補地区となるJR吉浦駅周辺地区について、まち歩きにより聴取した住民意見等をもとに、区域、生活関連施設及び生活関連経路の設定と特定事業の設定を行う。 ・調査事業の結果及び重点整備地区の設定をまとめ、令和3年度末に呉市移動円滑化基本構想の改定案を作成し、令和4年度、パブリックコメントを実施により市民意見を反映させ、令和5年1月に呉市移動円滑化基本構想の改定を行う予定である。

令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 呉市移動円滑化基本構想検討協議会（地域公共交通バリアフリー 化調査事業（移動等円滑化基本構想策定事業））の概要



呉市の概要

- 平成15年～17年に1市8町が合併
- 人口 21万人（令和3年12月現在）
- 面積 352.83平方キロメートル
- 高齢化率35.8%（令和3年9月）

協議会の構成員

学識経験者 老人クラブ連合会 身体障害者福祉協会
子育て協会 市民代表 JR西日本 バス協会 呉警察署
国土交通省広島国道事務所 広島県 呉市

地域公共交通の現状

- ・鉄道：JR呉線
- ・航路：広島港・呉～松山等
- ・バス路線：広島電鉄，中国JRバス，瀬戸内産交，さんようバス
- ・生活バス，乗合タクシー：富士交通，朝日交通，東和交通等
- ・福祉移送サービス：福祉タクシー等

地域公共交通の現況



ー 鉄道
 ー 広島電鉄
 ー 中国ジェイアールバス・瀬戸内産交・さんようバス
 ー 生活バス
 ー 乗合タクシー
 ー 航路
 ※高速バス、エアポートバスは掲載していない

具体的な課題・問題点

- ・平成13年に作成した「呉市移動円滑化基本構想」における重点整備地区「JR呉駅・呉港周辺地区」において、呉駅周辺地域総合開発を進めており、JR呉駅を中心とした地域のバリアフリー化について再検討が必要
- ・JR吉浦駅等、重点整備地区以外のJR駅周辺のバリアフリー化について、住民からの要望があること



調査事業の実施

調査事業の概要

- ・現状と課題の整理
- ・新規重点整備地区の設定
- ・住民参加と意見の反映
- ・協議会運営
- ・基本構想（案）作成

協議会における検討

- 協議会の開催状況 3回開催
- ・第1回（11月30日）
法令の説明、現況の把握等
- ・第2回（2月予定）
基本構想（素案）の検討
- ・第3回（3月予定）
基本構想（案）の確定

地域住民の意見の反映

- ・本年度12月にJR吉浦駅周辺地区のまち歩きを開催。協議会構成員、各種福祉団体、地域住民で地区内のバリアフリーチェックを行い意見を聴取
- ・各団体ヒアリング調査を実施し、高齢者、障害者等の意見を聴取
- ・パブリックコメントによる意見聴取予定

事業実施の適切性

呉市移動円滑化基本構想の改定に必要な調査を行うことができた。

調査事業の結果の概要

- ・現行の基本構想における2箇所の重点整備地区について現状を整理し、未整備の特定事業があることやまちの変化に即したバリアフリー化を図る必要性があることなどから、継続して重点整備地区として設定する。
- ・市内におけるJR各駅の利用状況や住民等からの要望を踏まえ、JR吉浦駅周辺地区を新規の重点地区として設定する。
- ・JR吉浦駅周辺地区をモデル地区としたまち歩き及び各団体ヒアリング調査の実施により、高齢者、障害者等の意見を聴取し、施設や経路のバリアフリー化の方針や特定事業の設定に反映する。
- ・上記について、今後協議会での意見交換を行い、呉市移動円滑化基本構想の改定案の作成を行う予定である。



地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針等

- ・現行の基本構想において重点整備地区に位置付けているJR呉駅・呉港周辺地区及びJR広駅・安芸阿賀駅周辺地区について、現況に応じ、区域、生活関連施設及び生活関連経路の見直しを行い、特定事業の設定を行う。
- ・新規重点整備地区の候補地区となるJR吉浦駅周辺地区について、まち歩きにより聴取した住民意見等をもとに、区域、生活関連施設及び生活関連経路の設定と特定事業の設定を行う。
- ・調査事業の結果及び重点整備地区の設定をまとめ、令和3年度末に呉市移動円滑化基本構想の改定案を作成し、令和4年度、パブリックコメントを実施により市民意見を反映させ、令和5年1月に呉市移動円滑化基本構想の改定を行う予定である。